

(7) 遂行上の問題点、取組課題（箇条書きで簡潔に記載）

平成19年度末時点で、支出ベースで約55%の進捗率であり、今後は、事業の進捗に合わせた国庫補助金及び町助成金を確保し、計画的に工事・補償などを実施することで、早期の事業完了を目指す。

(8) 改善実績（過去3年間の実績）

過去3年間に於いて、事業計画の変更もしているが、ある一定期間で、事業計画の調整、資金計画の見直しをしておき、国庫補助金については愛知県、助成金については町財政部局と十分調整をしている。

(9) 業務の評価（自己診断）

評価基準	評価の視点	五段階評価 (5～1点)
①目的の達成状況	業務目的に対して、どの程度の成果が得られているか。	5点
②コストパフォーマンス	成果を上げるために投入してきた人的資源、財源は、適切であったか。	5点
③業務方法の最適採用	業務の円滑で効率的な実施に採用した方法・手法は業務の目的、取り巻く状況に対応して適切であったか。	5点
④住民の満足・信頼獲得	受益する住民の満足、行政に対する信頼は高められたか。	3点
⑤総合計画との整合	総合計画（基本計画）の方針に対応しているか。	5点
⑥他都市との比較	近隣の都市、類似団体に比べて業務の進み具合はどうか。	5点
		平均 4.7点

(10) 総合評価（課の見解）

①今後の方向 (該当番号に○印)	<ol style="list-style-type: none">前年度と同じく、そのまま継続する。見直して継続（業務の拡大）見直して継続（業務の縮小）見直して継続（方法の改善）見直して継続（他業務と統合）廃止する。休止する。
②評価理由	国庫補助金（町負担分）と町助成金の確保について、県及び町財政部局と調整し、ほぼ計画どおりに確保できたことで、それに見合う工事、移転補償などができてきている。ただし、まだ55%の進捗率の段階であり、今後も、計画的な事業の進捗を図り、早期の事業完了を目指すためにも、継続して事業を実施することが必要である。

(11) 今後の目標・改善方針（具体的かつ簡潔に記載。課の見解を記入すること）

これまでに十分調整が図れている結果、計画的に事業進捗は図られている。ただし、これからが事業完了に向けてのより重要な時期となるため、工事・移転補償などの施工に見合う資金が確保できるよう、積極的な調整を図っていく。